



多彩な支部活動報告にきらりと医療生協らしさ

2010 支部長会議開催 38人が熱心な討論

6/5(土)2010年支部長会議が生協病院5階会議室で開催されました。21支部中15支部から、支部長、運営委員さんら38人が参加しました。阪中理事長はあいさつで、今回の支部長会議は、「今年度の組織、組合員活動について意志をかためること。そして各支部の多彩な組合員活動を学びあい、今後の糧にしていこう。」とのべました。次に本部事務局の父川次長から、組織4課題など方針の具体化について報告があり、当面の課題では、班づくり・班会開催月間の取り組みなどについて提案しました。その後、6支部から支部活動などの報告がありました。



地域の方はかなり生協を頼りにしている!!

四ヶ郷支部の駒田さんは、リニューアル運動で、地域の組合員訪問活動について報告されました。職員といっしょに後日伺うことを明記した「こんにちは医療生協です」を事前に配布し、当日、訪問したところ、増資をすでに用意して待っていてくれた組合員があったり、対話もすすみ、2日間で65万円のリニューアル増資が寄せられたとの報告がありました。1人暮らしの方も多く、地域の人は、かなり生協を頼りにしている。高齢者施設など作ってほしいなどの要望が寄せられました。



サークル活動は大切 中支部の組合員活動

中支部の亀山さんは、健康体操サークルで、毎回会費のつもりで小額であるけれども、積立増資を続けていると話され、サークルの人数も減らず、組合員さんが組合員をよぶ活動になっていることを紹介。また、増資についてもコツコツと毎月、10数年、20数件集めている組合員さんの活動も紹介もされ、積立増資の中地区の一端がみえました。



1枚のピラから生まれた出会い、岡崎支部の誕生ばなし

4月に誕生した岡崎支部の花光さんが新支部について報告しました。1年半まえ、岡崎団地にまかれたまちかど健康チェックのお知らせピラから、健康チェック受けた組合員さんで班をつくり、医療・健康講座の開催など組合員とそこに住む方々で楽しく、健康づくりをすすめていく中で、医療生協の支部ができたとの報告。医療生協を地域の人びとが待っていた。地域の要求とマッチしたから支部に発展したとのべました。



班づくりは、組合員の要求、情報をキャッチし、具体的に手を打つこと

岩出支部の室谷さんは、2つの新班づくりと唯一地区でおこなっている保健教室のとりくみについて報告しました。組合員の家庭でうたごえをしているとの情報をキャッチし、診療所の2階で班としてできないか相談し、月1回うたごえ練習班を結成。ヨーガの要求があり、月2回のヨーガ班の誕生など組合員の要求や情報をキャッチし、具体的に手を打つことで班が生まれたと話しました。また、保健教室を地区主催で行い、身近な文化財を知る講座も紀州語り部の協力で、教室のひとつの講座として取り入れ、ユニークな取り組みが紹介されました。



楽しい班会は長続きの元

にし支部の渡辺さんは、班活動と地区で行なっているウエルカムパーティーについて報告しました。860世帯の地域で班が8班あり、毎回、班会では健康チェックを行い、必ずゲストを迎えて班会を開いている。時にはたこ焼きづくりなど楽しいこともしながら続いている。楽しい班会は長続きの元と話しました。ウエルカムパーティーは、新組合員さん全員にお誘いのハガキを出し、各支部で140件ぐらい電話かけをし、20人ぐらい参加しますが、医療生協の活動を紹介し喜ばれています。



組合員どうしの交流と地域との交流も大切に

海南海草支部の濱野さんは、1年間の支部の取り組みについて報告しました。地域や各種団体にも医療生協を知らせる活動をひろげ、地域との交流では、初午で餅まきをおこない、150人が集まるなど地域の伝統的な取り組みに参加することも医療生協を知ってもらう上で大切な活動と述べました。また、組合員の荷を分かち合うということで運営委員会で15分の健康チェックなどの学習も毎回しているとの報告がありました。

